



令和6年度

湧別町の社会教育

推進計画の概要

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる



第38回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会 (R5.6.25 於:湧別町30km給水)

湧別町教育委員会

はじめに

現在、人口減少社会やグローバル化の進展などにより、人々の価値観や生活様式、ワークスタイルが大きく変化しております。

このような変化の激しい時代において、夢や希望を持ち、様々な困難を乗り越え、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の実現に向け、町民自ら担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要です。

湧別町の社会教育にあっては、町民一人ひとりが、心の豊かさや健康で生きがいを持って生活するために、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会の実現に努めています。

こうした状況の中、令和4年度に1年間をかけて、社会教育委員、図書館協議会委員、スポーツ推進委員のご尽力により第3次湧別町社会教育中期計画を策定しております。

この計画は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとして、家庭教育をはじめ少年教育から高齢者教育といった「ライフステージ」の領域と、芸術・文化、図書館、博物館、スポーツ活動などの各分野にわたり、それぞれの現状と課題を明らかにし、その上で必要な学習機会の提供など、本町の社会教育推進のための指針を示すものであります。

実行2年目となる本年度につきましては、計画の具現化に向けて施策の企画や実施、充実に努め、関係機関をはじめ町民の皆さんが地域で相互に学びあうことにより、豊かな人間性を育み、その力を地域で発揮できるよう、それぞれの分野における取り組みを進めてまいります。

今後とも、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年5月

湧別町教育委員会教育長 阿 部 勉

湧別町社会教育の重点

湧別町社会教育目標（平成25年3月策定）

自ら学び、地域にいかせる人を支える

他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

湧別町社会教育5ヶ年のテーマ（令和5年度～令和9年度）

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

令和6年度 湧別町社会教育推進計画

家庭教育	1
少年教育	2
青年教育	3
成人教育	4
高齢者教育	5
芸術・文化活動と文化施設整備	6
図書館活動	7
文化財保護活動・博物館活動	8
スポーツ活動とスポーツ施設整備	9
生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備	10
令和6年度社会教育事業計画	11
資料	21

家庭教育

<推進目標>

子どもは町の宝

手を取り合い支え合って育てよう

現状と課題

- ◆家庭教育は全ての教育の原点であり、出発点でもあります。子どもにとって「家庭」は、家族から愛され、かけがえのない存在であることを実感し「生きる力」を養う場であるとともに、社会生活での必要なマナー等を身につける場でもあります。
- ◇家庭教育支援の大切さを地域全体で理解するために、広く周知する必要があります。また、保護者同士の交流を図る機会を創出、異世代の方々が地域で話せる場（サロン）を創設する必要があります。

推進項目

学習機会の提供

- ・家庭教育への理解を深める研修事業を充実する。
- ・家庭教育を担う保護者が必要とする情報を発信する（情報誌やインターネットなど各種メディアの活用）。
- ・家庭教育事業の実施場所を対象者の集う場所にあわせて設定する方法を検討する。

活動等の支援

- ・子育てサークル等の育成と支援を充実する。

学習環境づくり

- ・子育ての悩みや喜びをわかちあえる気軽に集う場（サロン）を創設する。
- ・親子で気軽に集い遊べる場（おもちゃ図書館）を創設する。

連携・ネットワーク

- ・子どもの育ちを支えるネットワークを構築する。
- ・家庭教育を担う保護者の発言が共有できる機会を充実する。
- ・子育て支援センターや図書館など、各種関係機関・団体との協力体制をつくり、連携を図る。

少年教育

<推進目標>

少年は町の未来

夢に向かって力をつけよう

現状と課題

- ◆オンラインの普及により、友達同士で外に遊びに行く機会は減少しており、顔を合せてのコミュニケーションが希薄になっています。
- ◇自然体験や異世代間交流、仲間づくり等のさまざまな体験活動の提供を求められています。また、次世代を担うリーダー、指導者の養成のため、小学生から高校生・青年・地域まで連携した事業の展開が必要です。さらに、少年教育の受け皿としての地域団体の支援・育成が必要です。

推進項目

学習機会の提供

- ・地域の特性を生かした数多くの体験活動の機会を提供し、豊かな人間性の養成を図る。
- ・年に一度は町内の子ども全員を対象とした学習機会を提供し、事業の充実を図る。

活動等の支援

- ・子ども会や青少年指導センターを支援する。
- ・異世代や異年齢との交流機会の拡充により、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域教育力の向上を図る。

学習環境づくり

- ・小学生や中学生のリーダー養成と活用を図る。
- ・地域の成人指導者の活用を図る。
- ・小学生～中学生～高校生～青年が連携できるよう、青年層からボランティアを積極的に受け入れ、次世代につながる指導者の養成を図る。

連携・ネットワーク

- ・より学習効果が得られるよう学校と社会教育が連携・融合した事業を推進する。
- ・児童センターをはじめ関係機関との連携を図る。
- ・学校の求めに応じ、コミュニティスクールに社会教育が積極的に参加協力を行う。
- ・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する地域学校協働活動を推進する。

青年教育

<推進目標>

青年は町の原動力

自らを磨き高めよう

現状と課題

◆情報通信技術や SNS の進展によって、人や社会との関わり方の意識が変化してきており、ニーズにあった学習機会の提供が必要です。また、各青年部や青年組織と連携を図りながら、異業種の若者が地域行事やイベントなどを通して活発に交流できる機会の提供が求められています。

◇青年が地域社会で活躍する機会や、青年同士が交流する機会の提供が必要です。また、青年活動に積極的に関わる人材の発掘・育成が必要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・若者世代の生活課題の解決につながるような学習機会を提供する。
- ・20歳の集いを開催し、社会人としての意識の高揚を図る。
- ・高校生の社会参加活動を奨励・支援する。

活動等の支援

- ・青年団体協議会が行う自主活動を支援し、広く周知に努める。

学習環境づくり

- ・若い女性の社会参加を図る。
- ・団体リーダーの養成と活用を図る。
- ・地域活動への参加に向けて、青年が活躍できる場を提供する。

連携・ネットワーク

- ・各青年組織や異業種青年同士の交流を奨励し、連携・ネットワーク化を促進する。

成人教育

<推進目標>

成人は町の大黒柱

すすんで地域に関わろう

現状と課題

◆成人期は、職場や家庭、地域において、中心的な役割を担い社会に貢献することを期待されている時期ですが、毎日が忙しく参加の意欲がありながら難しい状況にあります。世代を束ねるリーダーとなるよう積極的に地域と関わることを求められています。

◇時間的余裕のない成人期のニーズに応えられるよう、情報提供も含め参加し活躍する場を創出する必要があります。また、湧別町の歴史、産業、自然等を学ぶ機会と次世代へ伝える講師の充実を図る必要があります。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・幅広い学習ニーズに応える学習機会の提供と学習意欲を喚起する。
- ・ふるさとを学ぶ機会の充実を図る。
- ・既存事業（町民大学等）の魅力を広く伝える。
- ・地域に関する学習機会を提供する。

活動等の支援

- ・社会教育各種団体等へ支援を図る。
- ・お互いの仕事や暮らしぶりを知り、地域を知ることにつながる学習活動を支援する。
- ・自主的に企画し実践するサークルなどの活動支援を充実する。

学習環境づくり

- ・行政と町民の協働事業を推進する。
- ・参加者に関会日時や託児サービスなどを配慮した事業を行う。
- ・気軽に参加し、すすんで活動できるよう情報の提供に努める。

連携・ネットワーク

- ・各種団体間の交流を促進する。
- ・関係機関との連携を図る。

高齢者教育

<推進目標>

高齢者は町の知恵袋

豊かな経験を地域で生かそう

現状と課題

◆湧別町の65歳以上の人口は、全体の約40%（令和6年3月末）を占めており、地域の教育力を高めるため、まちづくりにおける高齢者の果たすべき役割はより大きくなっています。また、アクティブシニアと呼ばれる方々は、新たな学びを求める傾向があります。

◇高齢者が持つ知識や経験、技能を地域や次世代に伝える機会を提供し、生きがいを持てるようにする必要があります。60歳代の方たちに活躍の場を提供する必要があります。

推進項目

学習機会の提供

- ・高齢者の興味関心を呼び起こす事業を充実する。
- ・知識や知恵をもった高齢者から学ぶ機会を拡充する。
- ・ふるさとを伝える機会を充実する。

活動等の支援

- ・チューリップ生きがい大学の参加者による自主活動の促進と充実を図る。
- ・次の世代に伝承する異世代間交流事業を充実する。

学習環境づくり

- ・知識や知恵を持つ高齢者を把握し、生かすようコーディネートを充実する。
- ・長寿社会を生きるそれぞれの年齢に応じた学習ニーズを把握し、次世代に豊かな経験を伝える機会を充実する。
- ・少人数でも気軽に参加しやすい環境づくりに努める。

連携・ネットワーク

- ・チューリップ生きがい大学と他団体との連携を図る。
- ・高齢者の豊かな経験を生かすために関係機関との連携を図る。

芸術・文化活動と 文化施設整備

<推進目標>

芸術・文化は未来を生きるヒント
創造力と豊かな心を育てよう

現状と課題

- ◆心の糧となる芸術・文化活動は、大人はもとより、これからの担う青少年の創造的な能力を伸ばす為にも、大きな役割を果たすものとして充実が望まれています。
- ◇鑑賞と創造が両輪となった芸術文化活動を推進するためには、文化センターの計画的な施設整備に努め、芸術文化にふれる機会を提供することが重要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・町民ニーズを踏まえた上で、芸術性に溢れた公演作品や、心の栄養となる娯楽性に富んだ舞台鑑賞機会の提供に努めます。
- ・青少年が優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、新たな芸術・文化活動を始めるきっかけづくりに努めます。

活動等の支援

- ・文化連盟を始め、各種文化団体の自主的な活動を支援します。
- ・芸術文化奨励事業補助制度の活用促進に努めます。
- ・学習の成果を生かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用にあつめます。

学習環境づくり

- ・芸術・文化事業の情報提供にあつめます。
- ・さざ波・TOM両文化センターの特徴を生かした有効活用にあつめます。
- ・文化センターの計画的な設備の更新にあつめます。

連携・ネットワーク

- ・北海道や北海道文化財団のほか、他の市町村・文化ホールとの連携を図ります。
- ・文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興にあつめます。

図書館活動

<推進目標>

図書館は町民の憩いの場

みんなで学び楽しもう

現状と課題

◆本町には中湧別図書館、湧別図書館の2つの図書館と1台の移動図書館車が配備されています。そして両館が収蔵する図書館資料数は14万冊です。乳幼児から高齢者まで幅広い世代の町民利用に対応するため常に新鮮な図書館資料の維持を継続しています。

◇今日においてはインターネットでさまざまな情報を入手できますが、情報は混在し、求めている正しい情報を入手することが難しいという側面があります。そこで、図書館が信頼性の高い書籍を保存し、図書館司書の専門性を生かした読書活動へのアドバイスをを行い、的確な資料や情報を提供することが求められています。

推進項目

課題解決の方策

図書館資料の収集、 整理保存

- ・町民の読書傾向を踏まえ、新鮮な図書購入に努めます。
- ・両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し特徴づけた収集に努めます。
- ・整理保存した郷土資料のデジタル化に努めます。

利用促進、 読書機会の提供

- ・魅力的な展示に努めます。
- ・図書館システムの更新を行い、図書館資料の適切な管理と利用者の利便性の向上に努めます。
- ・インターネット等で図書館情報を発信します。

連携・ネットワーク

- ・移動図書館車を運行し、町内全域に向けて読書活動を推進します。
- ・学校をはじめとする教育施設や保育・福祉施設との連携を図ります。
- ・「子どもの読書活動推進計画」により、子どもたちの読書環境を整備します。
- ・図書館ボランティアとの連携強化に努めます。
- ・ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。

文化財保護活動 博物館活動

<推進目標>

文化財は町のキセキ 歴史を訪ねて未来へつなげよう

現状と課題

- ◆文化財は57か所の埋蔵文化財包蔵地と2件の北海道道指定史跡・天然記念物があり、それらを適切に後世に伝えられるよう保護活動を行っています。博物館は考古資料やはく製を中心とした湧別地区のあゆみを展示している郷土館と、屯田兵を中心とする上湧別地区のあゆみを展示したふるさと館JRYの2館あり、資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動を行っています。
- ◇文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と博物館資料の保存です。文化財はいかに開発行為による破壊を最小限にして保護できるか、博物館資料はいかに安定的に保存・管理できるかが課題です。その環境整備のためには、文化財等の付加価値を高めるための調査研究とその成果を公開する展示や教育普及活動が重要です。広く多くの方に文化財・博物館資料の存在や重要性を知ってもらえるか、そのための機会を提供していけるかも大きな課題です。

推進項目

課題解決の方策

文化財保護

- ・次世代へと繋ぐため、埋蔵文化財の保護と環境整備に努めます。
- ・北海道指定史跡シブノツナイ 堅穴住居跡の調査研究を継続的に進めます。
- ・収蔵している石器や土器等の分類整理を進め、湧別地区の先史文化資料の活用を行います。

博物館資料の収集 ・調査研究・展示

- ・資料の整理分類を進めて、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。
- ・調査研究の成果を展示・教育普及活動で活用します。
- ・収蔵資料の整理を進めます（収蔵庫）。
- ・先史の展示の充実に努めます（郷土館）。
- ・子どもたちに理解しやすい展示を行います。
- ・収蔵展示を行い展示資料の充実に努めます。

博物館教育普及

- ・文化財を知る機会の提供に努めます。
- ・先史・開拓を知る体験学習の提供を進めます。
- ・学校利用の促進に努めます。
- ・出張学習の内容充実に努めます。
- ・学芸員の専門性・教育力を高めるよう努めます。
- ・広報を活用し活動の周知に努めます。

スポーツ活動と スポーツ施設整備

<推進目標>

明日の元気は、きょうのスポーツから
みんなで体を動かし楽しもう

現状と課題

- ◆町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、ニーズが多様化している一方、少子高齢化によるスポーツ団体の会員の減少や青少年の体力の低下、成人・高齢者の生活習慣病、学校運動部活動の地域移行など多くの課題を抱えているのが現状です。
- ◇誰もが体力や年齢に応じた運動習慣が形成されるよう、スポーツに親しむ機会提供と普及、施設の計画的な改修と適正な管理運営、体育協会やスポーツ少年団などと連携し、指導者の確保や担い手の育成と支援体制の充実に努める必要があります。

推進項目

課題解決の方策

生涯スポーツの普及

- ・ライフステージや習熟度に応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を定期的に提供し、健康や体力づくりの増進とスポーツを通じた町民相互の交流の推進に努めます。
- ・日常的にスポーツや運動をしない方がその楽しさと効果を実感できるように、積極的な働きかけを行い、スポーツ文化の裾野を広げます。

活動等の支援

- ・体育協会やスポーツ少年団など関係団体の指導者の確保や担い手の育成と自主的な活動支援に努めます。
- ・スポーツ用具等を整備することにより、スポーツを始めたい方の支援に努めます。
- ・運動指導職員やスポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及のほか、体力に応じた運動メニューの提供を図り、町民の健康増進に貢献します。

学習環境づくり

- ・スポーツ団体の活動を広く紹介し、会員数の確保と活動意欲の向上を図ります。
- ・著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。
- ・部活動の地域移行を推進するため、中学生・高校生が地域でスポーツができる体制づくりを検討します。

連携・ネットワーク

- ・町民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正な管理運営に努めます。
- ・保健福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。
- ・体育協会やスポーツ少年団、自治会、学校、関係団体等の連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。

生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備

<推進目標>

生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ
いつでも、どこでも、だれでも
参加し楽しもう

現状と課題

- ◆さまざまな学習活動がより効果的になるよう各関係機関・団体との連携・協力を図る必要があります。
- ◇生涯学習情報の収集・提供、相談体制の充実に努め、町民の自主活動に対する支援体制の整備が必要です。

推進項目

学習推進体制整備

- ・町民のさまざまな学習活動がより効果的になるよう関係機関や団体との連携強化に努めます。
- ・総合的に生涯学習を推進するための体制整備に努めます。

施設整備・活用・連携

- ・町民のニーズを踏まえながら、利用しやすい施設の整備・機能充実や効果的な管理運営に努めます。
- ・施設間の連携やネットワーク化により、学習サービスの向上に努めます。

学習情報の収集提供・ 相談体制の充実

- ・町民の学習活動を支援するため、生涯学習情報の収集・提供に努めます。
- ・多様化する学習ニーズに応じ、町民の学習活動が円滑に行われるよう相談体制の充実に努めます。

指導者の養成・活用 団体活動支援

- ・町民の多種多様な学習ニーズに対応するため、さまざまな分野から指導者を発掘、養成し、人材の活用に努めます。
- ・生涯学習振興奨励事業補助金活用により、サークル等が自主的に学習活動を行う支援に努めます。
- ・ボランティアを育成するとともに、活動の支援に努めます。

連携・ネットワーク

- ・社会教育委員、スポーツ推進委員、図書館協議会委員、各団体、町各部局、地域、学校との連携強化とネットワーク化を図り、生涯学習活動の推進に努めます。
- ・生涯学習に関する情報を収集、データベース化し、ガイドブック等の発行を検討します。

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	①生涯学習情報の 収集・提供・相談 体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行 （2カ月に1回）（担当：佐呂間町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。 ○Instagramによる事業周知	「湧く湧く」 印刷製本費 1,584千円	10-1 10-3
	②指導者の発掘・ 養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々 な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4
	③団体活動の支 援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行 われるよう支援を行う。	—	
	④生涯学習振興奨 励事業	年間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会など の学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極 めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	
	⑤施設の整備・運 営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、 施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設 間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	①家庭教育研修会	2月予定	文化セン ターTOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓 発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康 こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA 連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。 開催場所や開催日時、方法について再検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	②健康こども課と の事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援セン ター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を 図る。	—	1-3 1-4
	③家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近 に相談する機会を提供する。	—	1-2
少 年 教 育	①児童宿泊研修会	6/13(木) ～14(金)	ネイパル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動 を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や 役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費122千円 （4,000円×1/2 ×61人） 需用費15千円 バス借上料143千円	2-1 2-4
	②子ども会の育 成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や 湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円	2-2
	③第1回子ども会 リーダー研修会	7/25日(木) ～26日(金)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進 むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学 び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、 青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会 リーダー研修会	3/8(土) ～9(日)	紋別市生涯 学習セン ター			
	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼 儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導すること で、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指 す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促 す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	2-1 2-3
	⑥第53回新春交 歓カルタ大会	R7.1/19 (日)				

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
少年教育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 手数料1千円	2-1 2-2 2-4
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/7(水) ～9(金)	湧別町 (受入れ)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費100千円 需用費150千円 保険料 16千円 使用料156千円	
青年教育	①青年団体の育成・援助	年間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和7年20歳の集い	R7. 1/12(日)	文化センターさざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費530千円 需用費 83千円	
成人教育	①第48回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。合併15周年記念として著名な講師を選定予定	補助金 2,500千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	②第14回ふるさと講座	11/9(土) 13:30-	ふるさと館JRY	テーマ「湧別の偉人(明治編)」と題して、ふるさと館JRY中島館長を講師に明治時代に湧別の礎を築いた方について学ぶ。	講師謝礼30千円	
	③第12回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	7/6(土) 9:00-	志撫子・計呂地方	”湧網線の名残りをたずねサロマ湖の景観を楽しむ旅”として、湧網線の跡地やサロマ湖の自然を感じられるバスツアーを開催する。	講師謝礼30千円 バス借上料77千円	
	④PTA団体への援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	4-2 4-4
	⑤ボランティア団体との連携	年間	文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度)	文化センターTOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費247千円 需用費 36千円 印刷製本費83千円 借上料528千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	
	③アクティブシニア向け事業	年間	文化センターさざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがい大学の繋がりが強化を図る。	報償費480千円	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随時	道内管内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 北海道社会教育研究大会(オホーツク大会) 網走市 生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬109千円 費用弁償169千円	10-5

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
芸 術 ・ 文 化 活 動 の 振 興	①文化団体の育成 援助	年 間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	②鑑賞機会提供団 体の育成援助	年 間	文化センター TOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
	③幼児芸術鑑賞会	7/17(水) 10:00-	文化セン ターさざ波	幼児対象 公演内容 小さな子のためのオペラと朗読会	公演料 500千円	6-1
	④児童芸術鑑賞会	9/3(火) 10:00-	文化セン ターさざ波	小学生全学年対象 公演内容 劇団ボブラミュージカル「オズの魔法使い」	公演料 880千円	
	⑤中学生芸術鑑賞 会	6/6(木) 13:30-	文化セン ターTOM	中学生全学年対象 公演内容 神保彰ワンマンライブ	公演料 1,500千円	
	⑥一般芸術鑑賞会	10/5(土) 19:00-	文化セン ターさざ波	町民対象（1公演） 公演内容 三井住友海上文化財団 「地域住民のためのコンサート」 「トルヴェール・カルテットwith小柳美奈子」	公演料 0千円	6-1
	⑦子どもアート体 験事業 「ダンスワーク ショップ」	未 定	文化セン ター さざ波	振付師・ダンサーの北尾巨氏を講師に日常の中でのストー リーや、実際に見たり触れたりしている物を題材にダンス を創作し、身体表現の楽しさを体験する。 北海道文化財団との共催事業	—	
	⑧文化芸術作品展 示会等の奨励	年 間	文化センター TOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真 などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	⑨カルチャー教室	年 間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民の ニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 135千円	6-1
大 会 の 開 催 等	①第39回サロマ 湖100kmウルトラ マラソン	6/30(日)	湧別総合 体育館裏	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上）	負担金 3,000千円	
	②湧別町少年柔道 大会「上野カップ 2024」	10/12(土) ～13(日)	湧別総合 体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリ ストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道 大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の 活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致 する予定。	歳入総額 3,037千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,337千円 歳出総額 3,637千円	
	③第49回町民 300歳バレーボ ール大会	12/1(日)	中湧別総合 体育館・湧別 総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品35千円 食糧費33千円	
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	①スポーツ王国北 海道「スポーツ チャレンジ教室」 「コーチ・ペアレ ンツ講習会」	7月～12月 予定	未 定	世界第一線で活躍するアスリート等によるスポーツ体験教 室を開催し、子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を 伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を 高めるとともに、指導者や保護者にスポーツの大切さを理 解してもらい、子どもがスポーツに親しむ習慣が促進され ることを目的とする。（北海道との共催事業） 講師：未定 対象：教 室 小・中学生 講習会 指導者・保護者	スポーツ推進委員 報酬32千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ジュニアスイミ ングスクール	7月予定	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味 合わせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田 千秋（トッカリ湧波会） 小橋 百合香（スポーツ推進委員） 対象：小学生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	③ニュースポーツ deあそび	R7. 1月～3月予 定	湧別総合 体育館	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくり を高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の 活性化を図る。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在住の方 内 容：ニュースポーツ	スポーツ推進委員 報酬32千円	

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	④ジュニアスケート教室	R7. 1/ 8(水) ~10(金)	芭露スケートリンク	町内の小学生に対してスケートの楽しさを味わせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也（芭露） 松本桃子（芭露 スポーツ推進委員） 藤本祐司（教委職員） 対象：小学生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	⑤クロスカントリースキー教室	R7. 1/26(日)	五鹿山スキー場	初級者を対象に、クロスカントリースキーの楽しさを味わせるとともに、正しい走行方法を習得させる。 指導者：鈴木義広（中湧別北町） 石川克己（錦町 スポーツ推進委員） 対 象：小学生~一般町民	講師謝礼 3千円 スポーツ推進委員 報酬3千円	
	⑥運動・トレーニング指導	5月~3月	湧別総合体育館ほか	エクササイズとトレーニング機器を使ったトレーニングを行い、町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。 ①エクササイズ ②トレーニング機器を使った指導など 講師：月2回は委託業者 月1回は教委職員 対象：一般町民	委託料924千円	
	【新規】 ⑦湧別町・レバンカ北海道スポーツ推進事業	7/11(木) 12(金)	湧別総合体育館ほか	プロによるスポーツ教室を開催し、本町の子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心を深める。また、本町とレバンカ北海道が包括連携協定を締結したことから、レバンカ北海道のサポートを受け、町の地域活性化にも繋げる。 予定事業 ①バスケットボール教室 ②町民トークショーなど ※湧別町合併15周年記念事業として実施	委託料880千円	
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月~3月	湧別総合体育館ほか	町内の小学1年生から3年生を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月 器械体操（湧別総合体育館） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月 ドッジボール 初級編（湧別総合体育館） 11月 ドッジボール 中級編（湧別総合体育館） 12月 ミニサッカー（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 HIIT THE BEAT（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：小学1年生~3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 HIIT THE BEAT 15千円 スポーツ推進委員 報酬268千円	9-1 9-2 9-3
	②巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随 時	管 道 内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 興部町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 興部町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 増毛町	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償97千円	9-2
団 体 活 動 の 育 成 援 助 等	①少年スポーツ団体の育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金709千円	9-2 9-4
	③大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 （湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金2,104千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
施設の整備活用	①施設の整備	年 間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年 間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随 時	-	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年 間	両 館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費 (図書、新聞・雑誌) 8,000千円	7-1
	②利用促進、読書 機会の提供	年 間	両 館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		7-2
				インターネットによる情報発信を行う。 ・デジタル資料の公開 ・事業のお知らせ ・司書によるおすすめ本の紹介（新着図書案内） ・図書館だより ・小学生向け広報の発行（年4回）		
				宅配貸出サービス（月2回） ・来館が困難な町民に対して個別に配送貸出を実施		
				マイナンバーカード連携 ・現行図書館システムの利用者番号とマイナンバーカードを連携することにより、マイナンバーカードでも図書等の貸出が可能となる。	委託料 1,290千円	
	③ブックスタート	年 間	健診会場	ブックスタート（月1回） ・絵本2冊と手作りバックの提供 ・4ヶ月児対象 ・健診時に絵本とバックをメッセージと共に提供 ブックスタートプラス（年2回） ・絵本とブックガイドの提供 ・5～6歳児対象 ・就学時健診時に絵本1冊とブックガイドを提供 協力（バック制作） ・ルピナスの会（バック本体） ・湧別高校ボランティア部（名札）	資料費（絵本） 142千円	
④絵本くらぶ	年 間	両 館	絵本の宅配（月1回） 3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配（登録制）			
活動	⑤移動図書館車の運行	年 間	両 館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。 機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 児童、職員が乗り込んで借りる以外に、一部ステーションでは図書館職員が選本したセットを配本。 <ステーション> ・認定こども園、保育所 3か所（年8回） ・児童センター 5か所（年8回又は年4回） ・子育て支援センター 1か所（年4回） ・学校 8か所（年8回） ・福祉施設 8か所（年4回） ・地区施設 3か所（年4回） ・郵便局 5か所（年4回）		7-3
	⑥学校図書館支援	年 間	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布 ・読書通帳の提供		

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目	
図書館	⑦古本コーナー	年間	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動		7-2 7-3	
	⑧特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示			
		年間	両館	テーマ：年中行事			
		4月～5月	両館	子ども読書週間特別展示 ・「こどもの本総選挙」 湧別図書館 4月20日～5月28日 ・「なりきりアイスクリームやさん」 中湧別図書館 4月26日～5月28日			
		10月～11月	両館	秋の読書週間特別展示			
		9月～10月	中湧別図書館	絵本原画展「あてっこ どうぶつずかんだれ」（あべ弘士／作・絵）			
		7月（予定）	湧別図書館	絵本原画展「北の里から平和の祈り ノーモア・ヒバクシャ会館物語」（北海道新聞社）			
	年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—			
	活動	⑨連携・ネットワーク	年間	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部） ・ゆうべつ学園読み聞かせ（リーディング倶楽部たんぼぼ） ・中湧別図書館読み聞かせ（りんごっこ、湧別高校ボランティア部）		7-3
			年間	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
会議3回 研修1回			湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修（管内公共図書館視察）			
7月～9月		両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加				
	⑩単年度イベント	7月～9月	湧別図書館	絵本ライブ ・絵本＋音楽＋αの新しい読み聞かせスタイル。子どもから大人まで対象としています。	報償費30千円		
文化財保護活動	①文化財の保護 (1) 埋蔵文化財	年間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ○シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査：竪穴住居跡の年代、遺跡範囲等確認 * 7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 610千円 印刷製本費 258千円	8-1	
	②文化財の保護 (2) 自然関連	年間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整			

令和6年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間	郷土館・ふるさと館 JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・資料外保管物の処分 ・資料移動（旧芭小体育館等） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		
	③博物館資料(3) 展示	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	○郷土館 ・企画展：発掘調査速報展（仮） ○ふるさと館JRY ・常設展示更新：解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備		8-2
	④調査研究	年間	—	【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】 ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘調査支援（3年間程度） 対象遺跡：川西オホーツク遺跡 令和6年度は測量調査		
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 （道具の変遷や機能の紹介） ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 ○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習（土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク 発掘調査の現地説明会（主に学校を対象） ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） *調査成果に応じて実施を判断する	講師謝礼 70千円	
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年間	—	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）		

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和6年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター インター	子ども会フットベースボール交流会	7/7（日）	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会リレー駅伝大会	10/6（日）	上湧別百年記念公園		
	子ども会ミニバレーボール大会	11/10（日）	中湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会	(夏) 7/25(木) ~26(金) (冬) 3/ 8(土) ~ 9(日)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	補助金 400千円
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/27(日)	文化センター さざ波(芸能)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
		展示の部 10/19(土) ~20(日)	文化センター TOM(展示)		
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	7/19(金) 19:00~	文化センター さざ波	海援隊トーク&ライブ~君の住む町へ~	
		9/14(土) 15:00~	文化センター さざ波	立川志らく独演会	
		11/22(金) 19:00~	文化センター さざ波	三浦祐太郎アコースティックライブ	

令和6年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2024	9/8(日)	五鹿山スキー場 ※場所は変更になる場合有	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
スケート協会	第55回湧別町スケート大会	2/1(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし他）	
実行	ゆうべつチャレンジデー	10/8(火)～14(月)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「ゆうべつチャレンジデー」を実施し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	【新規】北海道大学女子ラクロス部	7月～8月	上湧別百年記念公園	本町と北海道大学にて連携協定を結んでおり、北海道大学女子ラクロス部は令和5年の北海道ラクロスリーグにて優勝している。また、ラクロスは2028年のロサンゼルスオリンピックにて正式種目となっていることから、ラクロスの普及を図るとともに、町民との交流も図る。 合宿予定人員：20名予定	
委員	【新規】大田区合気道会	9/13(金)～16(月)	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：40名予定	
	三井住友女子柔道部合宿	9/20(金)～22(日)	湧別総合体育館	湧別町出身の上野雅恵監督が指導する三井住友女子柔道部が合宿を実施することにより、柔道の普及促進を行う。また、公開練習も行い、町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	
員	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定	
	第39回湧別原野林-ツクハカトリースキー大会	R7. 2/23(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	
会					

令和6年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センターTOM	排煙窓修繕	1,700	
	外壁劣化調査委託	4,350	
	空調機改修工事	94,000	
文化センターさざ波	中央監視盤MITアドバンス本体更新修繕	1,020	
	照明LED化工事	31,000	
湧別総合体育館 中湧別総合体育館	バレーボール支柱購入	610	各1組
湧別総合体育館	照明LED化工事	14,100	
五鹿山スキー場	リフト折返滑車軸及びゴムライナー交換工事	7,320	
ふるさと館JRY	温水暖房給水装置の修繕	561	
	エレベーター修繕	560	

社会教育委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	深谷 聡	僧侶・町民芝居	計呂地	
副委員長	山本 重幸	団体職員アトミッククラブ 会員	錦町	
	梅田 唯士	ふるさとから学ぶ会	上湧別 屯田市街地	
	平野 寿雄	農業・青少年指導センター	上湧別 屯田市街地	
	杉原 武純	農業・PTA	旭	
	毛利 美紀子	自営業・商工会女性部長	中湧別北町	
	渡辺 香織	体操指導士	中湧別南町	
	鈴木 由美子	自営業・商工会女性部	栄町	
	工藤 雄希峰	漁業・青少年指導センター	登栄床	
	三橋 裕介	商工会	中湧別南町	
	今野 博友	湧別高等学校長	中湧別南町	令和6年4月26日～
	西倉 めぐみ	主婦	栄町	
	替原 恵介	元青年団体協議会・会社員	中湧別東町	
	佐上 義朗	上湧別小学校長	上湧別 屯田市街地	令和5年4月28日～

図書館協議会委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	内野 静香	国際交流推進委員	港町	
副委員長	菊地 京子	学校支援員・リーグ倶楽部たんぽぽ	錦町	
	菊地 得典	僧侶	上芭露	
	藤井 清美	商工会女性部	中湧別北町	
	三澤 祥弘	生活相談員	中湧別東町	
	佐上 義朗	上湧別小学校長	上湧別 屯田市街地	令和5年4月28日～

スポーツ推進委員

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	石川 克己	団体職員	錦町	
副委員長	小橋 百合香	学校教員	中湧別南町	
	黒田 志津保	団体職員	中湧別中町	
	水牧 一郎	会社員	中湧別南町	
	白田 ゆかり	団体職員	栄町	
	木村 栄	漁業	芭露	
	峯田 ゆかり	団体職員	上湧別 屯田市街地	
	海谷 政貴	団体職員	中湧別北町	
	岸下 彩乃	学校教員	中湧別南町	
	藤崎 俊介	学校教員	中湧別南町	
	遠藤 真愛	団体職員	東	
	松本 桃子	農業	芭露	

○教育委員会社会教育関係職員

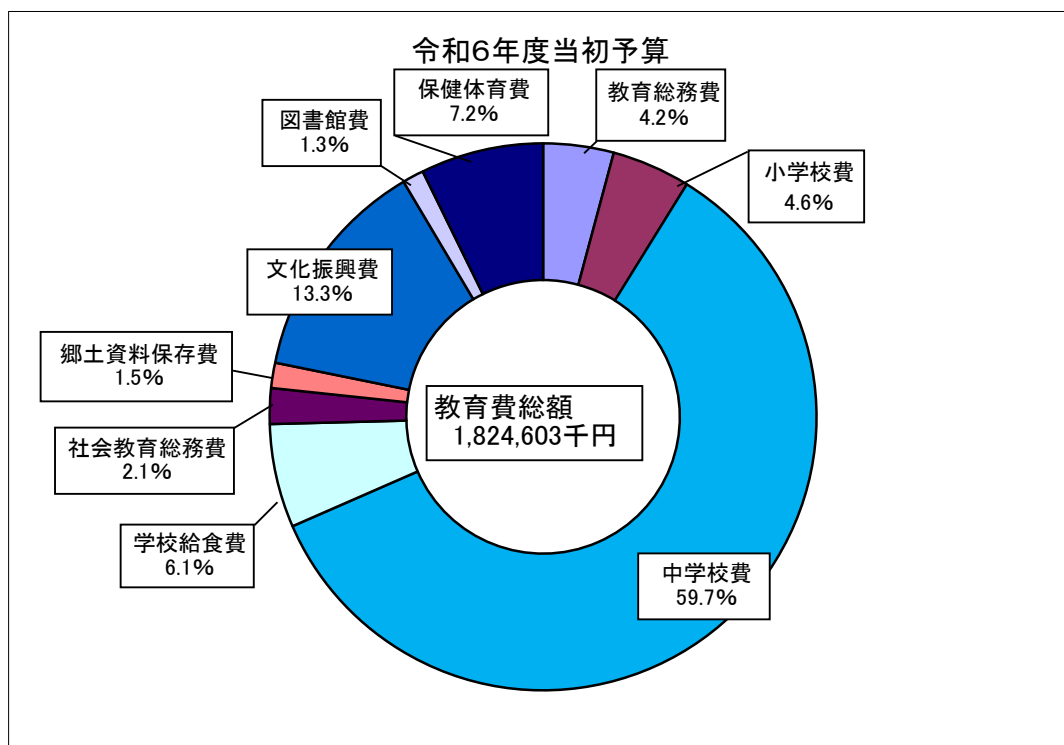
教 育 長
阿 部 勉

課 長	課長補佐・主幹 (グループリーダー)	主 査	主 任 等
西海谷 巧	社会教育G 藤本 祐司	仁木 宏紀	鈴木 健太 佐藤 凌也 三浦 茉畝 石塚 洋司 (教育アドバイザー)
参事 中島 一之	図書館 (中島 一之) (館長)	北村 公樹 (湧別図書館)	石垣 杏優 (中湧別図書館)
	ふるさと館JRY 郷土館 (中島 一之) (館長)	林 勇介	

Gはグループ、()は兼務職員

教 育 予 算

一般会計当初予算 10,252,000千円（前年度： 10,236,000千円）
 に対する
 教育費割合 17.80%（前年度：13.20%）
 社会教育費割合 4.52%（前年度：3.54%）



教育費
 住民一人当たり 231,079 円

社会教育費
 住民一人当たり 58,720 円

（R6.3月末現在 7,896 人）

関係団体補助金

補助金交付団体	補助金(単位:千円)		構成団体数
	令和6年度	令和5年度	
青少年指導センター	170	170	20
青年団体協議会	160	160	—
P T A 連 合 会	180	180	7
町 民 大 学	2,500	—	—
文 化 連 盟	350	350	24
体 育 協 会	709	711	17
ス ポ ー ツ 少 年 団	600	600	11

教育費内訳

(予算額単位:千円)

科	目	予算額	割合(%)	予算額計	割合(%)
教育総務費 (総務費)	教育委員会費	3,175	0.2	76,047	4.2
	事務局費	65,895	3.6		
	国際交流費	6,977	0.4		
小学校費	学校管理費	44,275	2.4	84,767	4.6
	教育振興費	40,492	2.2		
中学校費	学校管理費	1,074,225	58.9	1,088,140	59.7
	教育振興費	13,915	0.8		
学校給食費	学校給食費	111,993	6.1	111,993	6.1
小計		1,360,947	74.6	1,360,947	74.6
社会教育費 (民生費)	社会教育総務費	37,956	2.1	38,368	2.1
	児童福祉総務費	412	0.0		
	郷土資料保存費	27,094	1.5	27,094	1.5
	文化振興費	242,660	13.3	242,660	13.3
	図書館費	23,121	1.3	23,121	1.3
保健体育費	保健体育総務費	16,660	0.9	132,413	7.2
	体育施設費	115,753	6.3		
小計		463,656	25.4	463,656	25.4
教育費総額		1,824,603	100.0	1,824,603	100.0

※割合は端数調整により合計が合わない場合があります。

社会教育施設一覧表

区分	施設名	住所	開館日・開館時間等	電話番号	備考
教育文化 関連施設	文化センターTOM	中湧別中町3020番地の1	火～日：9:00～22:00 月：9:00～17:00	2-2188	大ホール移動席382席、最大752席
	文化センターさざ波	栄町219番地の1		5-3189	大ホール固定席422席
	上湧別農村環境改善センター	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露畜産研修センター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝：9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	ふるさと館JRY	北兵村一区588番地	火～日：9:00～16:00 月：休館	2-3000	屯田兵を中心とした郷土資料の展示
	郷土館	栄町155番地の1		5-2229	郷土資料の展示
	中湧別図書館（文化センターTOM内）	中湧別中町3020番地の1	火～日：10:00～18:00 月・図書整理日：休館	2-3150	
湧別図書館	栄町219番地の1		5-3122		
体育関連 施設	中湧別総合体育館	中湧別南町905番地の2	月：14:00～22:00 火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00	2-4186	
	湧別総合体育館	栄町155番地の1	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	
	武道館	栄町155番地の1			
	上湧別農村環境改善センター多目的ホール	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露ファミリースポーツセンター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝：9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	湧別プール	栄町155番地の1	火～土：10:00～21:00 日・祝：10:00～17:00 月：休館 利用期間 5月～10月	5-2229	
	中湧別野球場（夜間照明付）	中湧別南町905番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4186	問い合わせ：中湧別総合体育館
	湧別運動公園（夜間照明付野球場・テニスコート、多目的広場）	東37番地の1	6:00～22:00 利用期間 4月～11月	5-3189	問い合わせ：文化センターさざ波
	上湧別ソフトボール場（夜間照明付）	上湧別屯田市街地68番地	6:00～21:30 利用期間 4月～11月	2-4506	問い合わせ：上湧別農村環境改善センター
	中湧別ゲートボール場	中湧別東町3019番地の1	月：9:00～17:00 火～日・祝：9:00～22:00 利用期間 屋内：通年 屋外：5月～10月	2-2188	問い合わせ：文化センターTOM
	湧別屋内ゲートボール場	栄町155番地の6	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	問い合わせ：湧別総合体育館
	五鹿山パークゴルフ場	北兵村二区100番地	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	2-3111	54ホール
	芭露パークゴルフ場	芭露2334番地の16	日の出～日の入り 利用期間 4月～11月	6-2138	18ホール
五鹿山スキー場	北兵村二区100番地	10:00～21:00 利用期間 1月～3月	2-3111		
芭露スケートリンク	芭露882番地	9:00～21:00 利用期間 12月下旬～2月	5-3132	問い合わせ：社会教育課	